

第3回アンケート

自転車利用環境づくり

1 調査の概要

この報告書は、平成12年度第3回区政モニター調査「自転車利用環境づくり」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

足立区では、人にやさしい道づくりを目指して、自転車を利用するための良好な環境づくりを行っていきたいと考えています。については、区政モニターの意見等を聞き、来年度の「自転車利用環境整備計画」をつくる上での参考とする目的として調査しました。

3 調査方法

調査票・回答とも郵送

4 実施時期

平成12年10月24日～11月7日

5 対象者数、回答人数

対象者 48人 回答者 48人

6 回答者の性別・年代別・職業別・ブロック別の構成（年代はH12.6.1現在）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	1	1	1	1	9	0	13
女	3	11	9	10	2	0	35
合計	4	12	10	11	11	0	48

職業別	自営業 事業主	管理職 自由業	事務職 業務職	労務職 サービス業	パート タイマー	学生	主婦	無職	合計
人数	7	2	2	0	3	3	21	10	48

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック	6ブロック	7ブロック
人数	3	4	4	6	7	4	5
ブロック	87° ブロック	97° ブロック	107° ブロック	117° ブロック	127° ブロック	137° ブロック	合計
人数	4	0	4	4	2	1	48

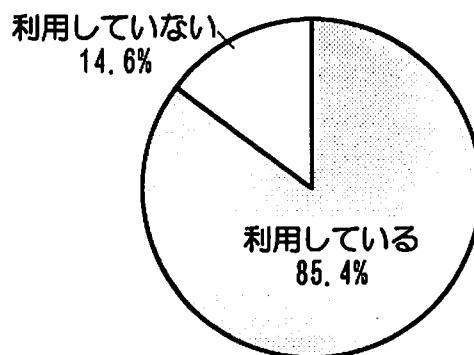
7 調査結果・分析の見方

回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。回答者数が未記入の場合は、その設問の回答者数は48人です。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

要旨

問1 自転車の利用度	「利用している」	85. 4% (41人)
問2 自転車の利用目的 (41人中)	「買い物」	61. 0% (25人)
	「銀行、郵便局、区役所、図書館等の私事」	17. 1% (7人)
	「通勤・通学」	9. 8% (4人)
問3 自転車を利用して困ったこと (41人中、複数回答)		
	「駅付近等に自転車を止める場所が少ない」	73. 2% (30人)
	「道路が狭い」	68. 3% (28人)
	「電柱や看板などが障害物となって走りづらい」	53. 7% (22人)
問4 歩行者として自転車に困ったこと (複数回答)		
	「自転車の飛び出しにひやりとした」	64. 6% (31人)
	「路上の放置自転車が邪魔で歩きにくい」	64. 6% (31人)
	「道が狭いので自転車と接触の危険がある」	56. 3% (27人)
問5-1 交通事故減少のために区が取り組むべきこと (複数回答)		
	「事故の多い箇所やその原因を究明し改善する」	68. 8% (33人)
	「車道を狭めても自転車専用通行帯を整備する」	35. 4% (17人)
	「交通安全のキャンペーンや教育を実施する」	27. 1% (13人)
問5-2 放置自転車対策で区が取り組むべきこと (複数回答)		
	「民間施設に駐輪場の設置を行政指導する」	54. 2% (26人)
	「有料駐輪場を増設する」	45. 8% (22人)
	「放置自転車は断固として撤去する」	22. 9% (11人)
問5-3 自転車利用者のマナー向上のために区が取り組むべきこと (複数回答)		
	「小・中学校の授業に交通安全教育を導入する」	50. 0% (24人)
	「標識、看板、路面表示でマナー向上を促す」	43. 8% (21人)
	「厳しく取り締まるよう警察に働きかける」	31. 3% (15人)
問5-4 自転車走行空間を確保する形態		
	「車道部にロック等の工作物を設置する」	54. 2% (26人)
	「歩道部に白線やカラー舗装をする」	27. 1% (13人)
	「車道部に白線やカラー舗装をする」	12. 5% (6人)
問6 有料でも利用したいモビリティーセンターのサービス (複数回答)		
	「メンテナンスサービス」	83. 3% (40人)
	「リサイクルサービス」	70. 8% (34人)
	「トイレ」	56. 3% (27人)

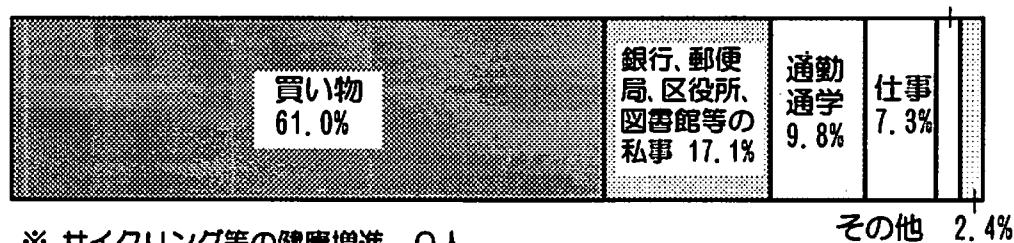
問1 あなたは日頃自転車を利用していますか。



問2 問1で「いる」を選んだ方にお聞きします。
主な利用目的は何ですか。

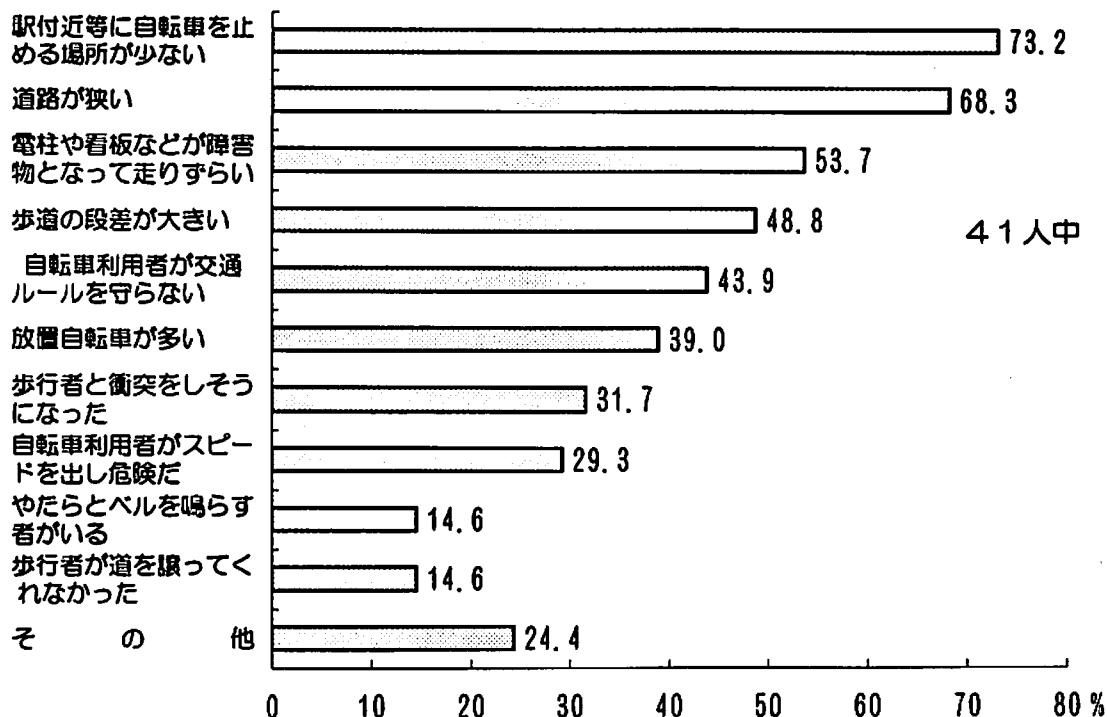
41人中

知人等訪問・コミュニティー活動
などの私事 2.4%

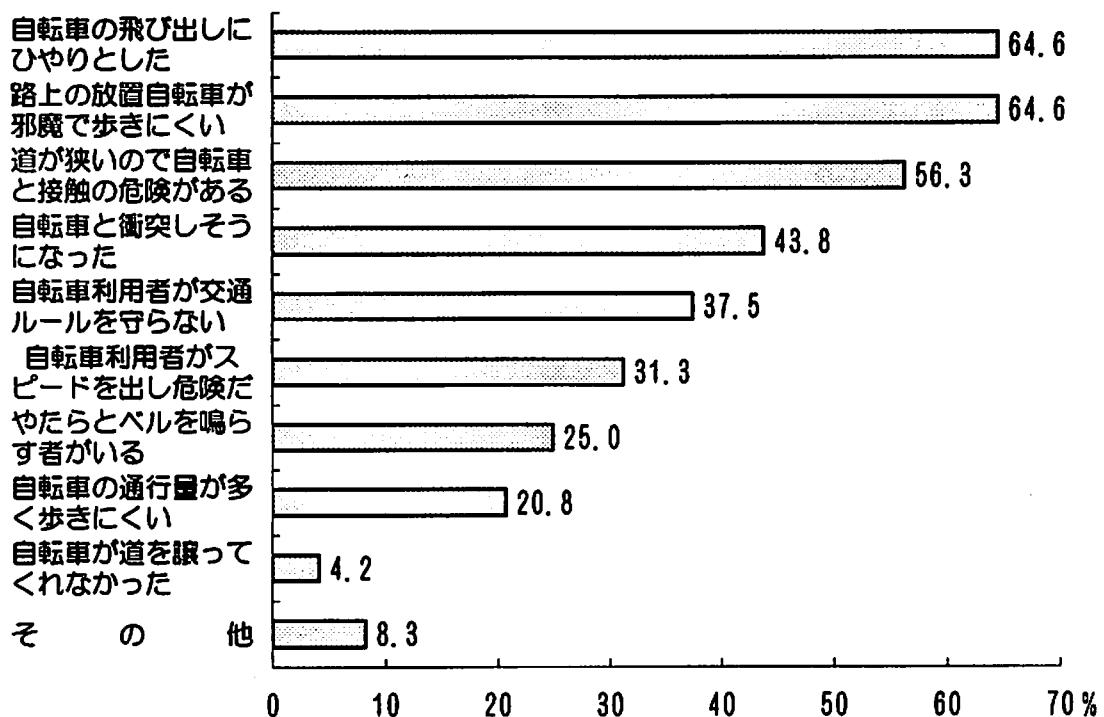


※ サイクリング等の健康増進 0人

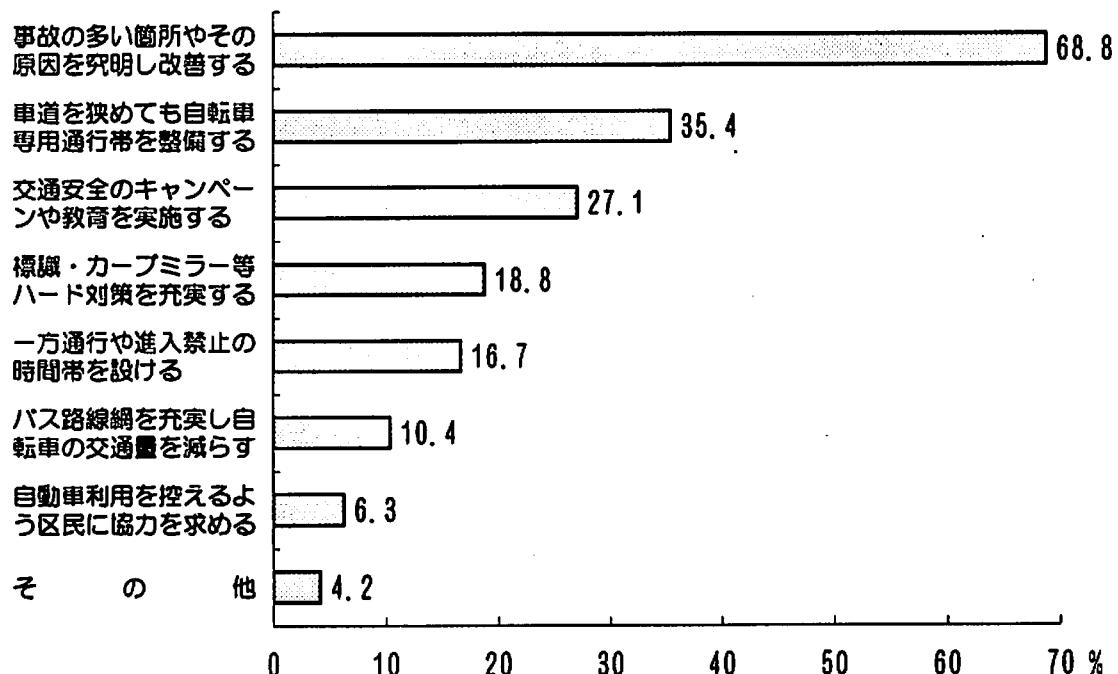
問3 問1で「いる」を選んだ方にお聞きします。
あなたが自転車を利用していて、困ったことは何ですか。 (いくつでも)



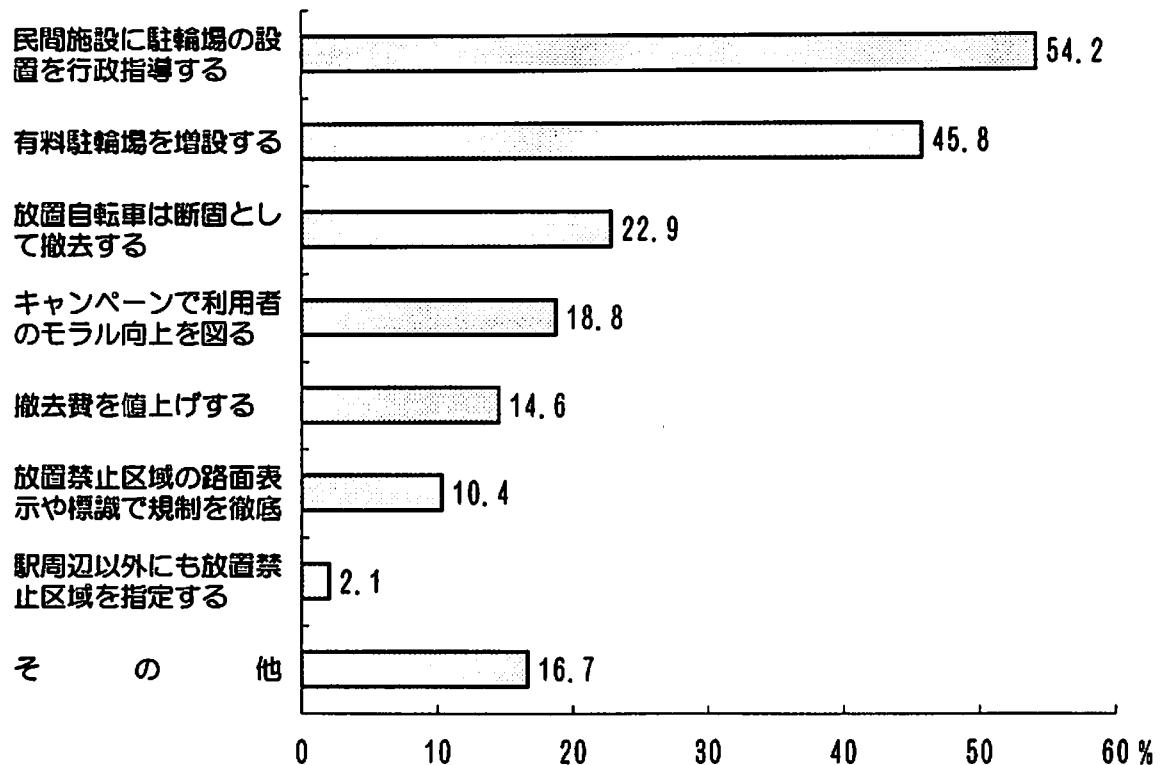
問4 あなたが歩行者として、自転車について困ったことは何ですか（いくつでも）



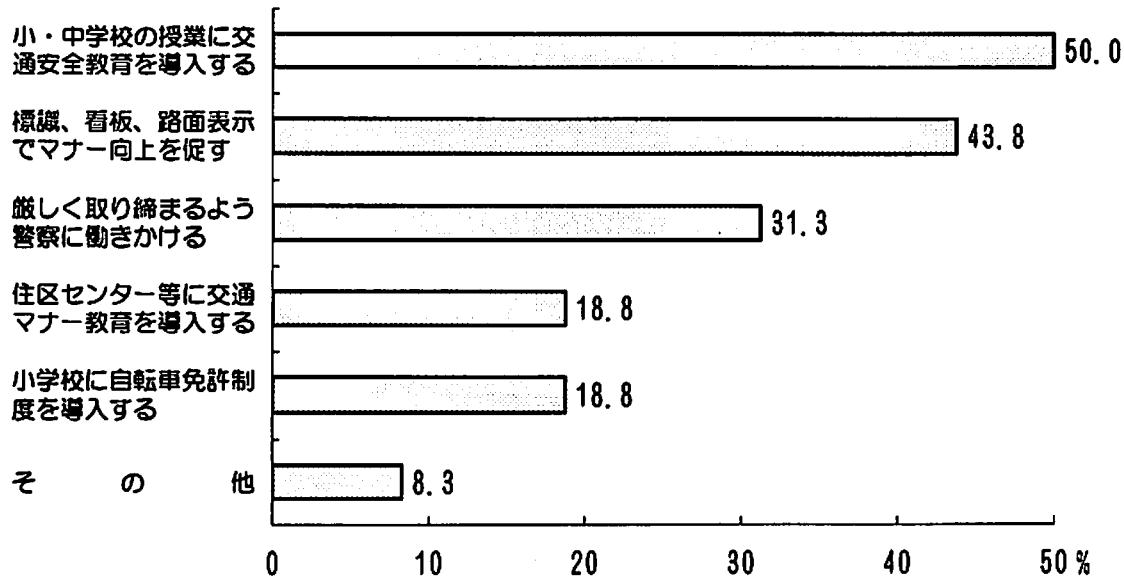
問5-1 「交通事故減少」のために、区はまず何から取り組んでいくべきだとお考えになりますか。（2つまで）



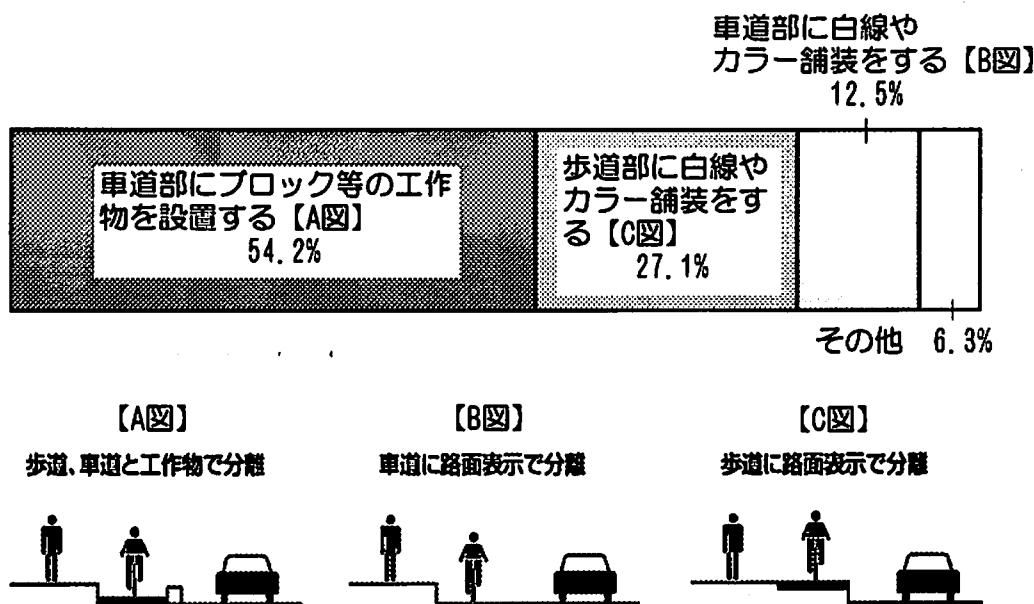
問5-2 「放置自転車」の対策を図るには、区はまず何から取り組んでいくべきだとお考えになりますか。（2つまで）



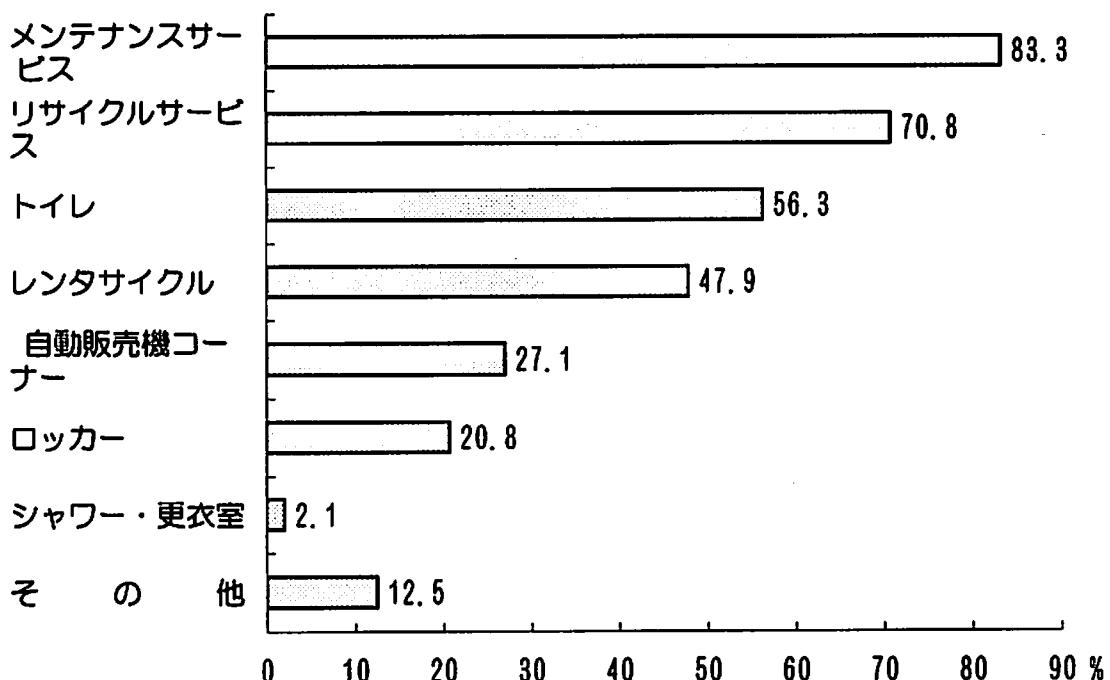
問5-3 「自転車利用者のマナー向上」のための対策を図るには、区はまず何から取り組んでいくべきだとお考えになりますか。（2つまで）



問5-4 区内の道路は一般的に道幅が狭く、歩道も狭い状況にあります。これ以上道幅を広げることは困難です。区では、車道を狭めたり植栽帯をなくすことで、歩道を広げようと考えています。そこで、今ある道幅で、「自転車の走行空間」を確保するには、どのような形態がよいと思われますか。



問6 区では、自転車利用をすすめるため、「モビリティセンター」の建設を検討しています。下記のサービスの中で、あなたが有料でも利用したいと思うものは何ですか。（いくつでも）



問7 足立区の自転車利用環境づくりに関するご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- ・ 放置自転車をなくすためには取り締まりを厳しくしなければならないが、そのためには、自転車をすべて収容できる駐輪場を作る。モビリティーセンター建設はどこまで具体的に検討されているのか。モビリティーセンターはPFI方式が可能ではないか。
(20代 男性)
- ・ 有料駐輪場を無料にすれば、放置がなくなる。不要になった自転車を有料で引き取る。
(20代 女性)
- ・ 自転車だけの道をつくるという案はとてもよい。
(20代 女性)
- ・ 駅や近くのスーパーなど、駐輪スペースのない施設は認めないでほしい。駅や利用施設から遠い場所に駐輪場をつくっても利用者は少ない。保育園・幼稚園から全区共通の交通安全教育をお願いしたい。車道から歩道への段差が危ない。
(30代 女性)
- ・ 梅島駅周辺は歩行者も多く、商店では品物が歩道まで並べてある。歩くのも大変で、自転車同士一方で待つという具合だ。そのためか自転車が車道を走るので、車に乗っていてヒヤッとする場面が何度もあった。
(30代 女性)
- ・ 駐輪禁止の場所に放置されているものが多い。撤去してもよいと思う(モラル低下は改善に時間がかかるので)。
(30代 女性)
- ・ 生活の手段としての環境づくりが大切だと思うが、楽しむための環境づくりもしていかなければよいと思う。
(30代 女性)
- ・ 若者と中年の女性は自転車利用のマナーが悪い。車の運転中に神経を使うのは車と自転車だ。自転車利用者の意識が向上すればと願っている。駅近くのマンション、コンビニ、コインパーキング等に自転車を置いているのを毎朝見掛けるが、駐輪場が狭いのと駅近くにないことが原因だと思う。
(30代 女性)
- ・ 年間の自転車撤去台数が4万台と知って、その多さに驚いた。撤去された自転車のほとんどは、持ち主が取りに来るのを待っている状態だと思う。撤去された自転車の状態を知りたい。
(30代 女性)
- ・ 自転車をよく利用するが、歩道を通るべきか車道を通るべきかよくわからない。まず、どちらを通るべきなのかを、区民全員にわかりやすく説明してほしい。また、自転車やその部品の盗難が多すぎるとと思う。
(30代 女性)

- ・ 若者たちのマナーがとても悪い。大人たちがもっとマナーを見直し、子どもたちに伝えるべきだ。
(30代 女性)
- ・ 有料駐輪場の料金を安くするか、無料の置き場を考えてほしい。自転車置場を探すが、ないとついその辺に置いてしまう。駅の近くは特に不便である。
(30代 女性)
- ・ これまで、無料の駐輪場等があったが、自分達が責任を持ち、環境づくりを進めていくためにも有料にすることはよいと思う。自分が金を払って利用する土地であれば、道路へのポイ捨てや乱暴な運転等が少なくなる。
(30代 女性)
- ・ 付近の駐輪場を増設し、自転車専用道を整備してほしい。
(40代 男性)
- ・ 駐輪スペースがないため、買物等で自転車を利用するときに困ることが多い。放置自転車が多いところは設備が整っていないためだと思う。有料でもかまわないので、商店街や駅周辺には駐輪スペースを作ってほしい。
(40代 女性)
- ・ 私は自転車に乗れないが、最近の自転車の横暴さには呆れている。若者のマナーは目に余るものがあるが、高齢者のマナーもひどいものがある。交通事故の多くは子どもと高齢者だと聞いている。子どもを含め高齢者へのマナーの指導も大切ではないか。
(40代 女性)
- ・ 先日、西新井駅の工事で、自転車が放置されるスペースを無くすとともに、放置自転車禁止の看板も掲示された。置けなくなつた自転車は路上に放置されるようになるので、利便性を一番に考えて、代替になるものをつくってほしい。自転車は「区民の足」である。
(40代 女性)
- ・ 自転車利用者にもマナー違反は多いが、足立区は道が狭く入り組んでいて分かりにくい。電柱が邪魔。歩道は段差がありすれ違う幅もない。特に五反野駅はひどいので、駅前に駐輪場を確保してほしい。時間によって乗用車の乗り入れを禁止したり、ロータリーにするなど、具体的に取り組んでほしい。
(40代 女性)
- ・ 自転車が安心して走れる道路づくりをしてほしい。どこへ行っても駐輪場が少ない。自転車を止めて置ける安全な場所を確保してほしい。駐輪禁止場所はきちんと表示して、守ってもらえるような体制指導をしてほしい。
(40代 女性)
- ・ 交通の不便な足立区には自転車が必要だ。しかし、自転車に乗る人のルールの無さには恐ろしいものがある。自分が優先という顔で、寄ること、止まることをしない。よって、人の意識を変えることが大事だ。事故防止のために自転車ルールをつくってはどうか。また、街の中に、ルールを交通標語のように貼ってはどうか。
(40代 女性)

- ・ 駅付近の駐輪場が少ないため、厳しく取り締まつてもあまり改善されないと思う。警察や区で、せめて通学者専用の駐輪場等をつくってみてはどうか。モビリティセンターの建設は個人的にとても興味がある。 (40代 女性)
- ・ モビリティセンターについて、駅・バス停周辺、高架下に設置する。返却の際、スーパー等民間施設の利用スタンプなどがあれば、利用者負担は無料にする。運営費は民間施設にも出費してもらう。 (40代 女性)
- ・ 利用道や利用法（放置してよい場所をつくり、その自転車をリサイクルで誰でも使えるようにする等）を明らかにする。モビリティセンターは有効だと思う。 (50代 女性)
- ・ 歩道は狭く、民家の木がなだれ込んでおり、自転車に乗っていて木やガードレールにぶつかりそうになった。民家に言うか、区が枝を切ることから始めてほしい。 (50代 女性)
- ・ 商店街等の出入口に駐輪場をつくり、中は通行止にしてはどうか。モビリティセンターの案はよいと思うが、シャワー・更衣室まで必要あるのか疑問に思う。あまり多機能にするとコストがかかり、維持経費も大変だ。現在計画中の西新井西口地区にも建設してほしい。 (50代 女性)
- ・ 駅近くに無料駐輪場を設けてほしい。駅近くで無料中古自転車のレンタルをしてほしい。「道路を広げるために植栽帯をなくして歩道を広げる」という考えはやめてほしい。これ以上緑を減らすことは街の環境にとってよくない。絶対やめてほしい。 (50代 女性)
- ・ 高校生のマナーは本当に悪いので、小・中学生だけでなく、高校生にも注意・教育してほしい。歩道に出してある商品・看板・植木は危ないので、なんとかならないか。 (50代 女性)
- ・ 自転車利用環境づくりは、行政一辺倒で実施される問題ではなく、区民一人ひとりの協力によってなされるべきものだ。従って、問題は、区民の環境づくりに対する意識をいかに向上させ、住み良いまちづくりを実施していくかにある。 (50代 女性)
- ・ 車道を走るには危険が多く、歩道は狭いうえ、人とすれ違うことの不安で自転車の利用は控えている。もっと、自転車に安心して乗れるような環境整備をする必要がある。人も自転車も車も安心して安全に利用できるよう、歩道と共に自転車専用道路の整備をぜひ検討してもらいたい。 (50代 女性)

- ・ 撤去費は値下げしてほしい。自転車は手軽な交通手段なので、あまり有料化はすすめでほしくない。
(60代 男性)
- ・ 自転車利用者だけでなく、一般の歩行者にも、地域ごとに安全啓発を行う必要がある。
(60代 男性)
- ・ 自転車道と歩道の段差をなくす。標示柱や電柱等が歩道を邪魔している。ガードレールも邪魔になる場所がある。商店前の立て看板、商品陳列、自動販売機による歩道の占有がひどいので、規制を徹底すべきだ。
(60代 男性)
- ・ 自転車は排ガスを出さないクリーンな乗物なので、普段自動車を利用する人も、なるべく自転車を利用すればよい。現在、駅周辺は自転車をとめておけないようにしているが、利用促進には正反対の施策だ。駅周辺に無料駐輪場を拡大してほしい。そのためには、道路や広場の広さを狭めてもよい。
(60代 男性)
- ・ ハード面とソフト面は表裏一体だ。放置自転車対策として、自転車登録税を賦課し、抹消届をしない限り登録税を納付してもらう方式を検討する。新線の駅等、区内主要箇所に立体駐輪施設を確保する。その駐輪施設の壁面を（都バスのように）広告塔として収益を上げれば、駐輪料金を低限設定できる。
(60代 男性)
- ・ 狹い歩道で、街路樹がある所は擦れ違うのが無理なので、「歩道には街路樹」という概念は捨てる。外見ばかり考えず、歩行者と自転車にやさしい歩道づくりを優先する（変形レンガの歩道は凸凹があり不適）。利用に際して守るべき点等を教えることを、販売する側に義務付ける。
(60代 男性)
- ・ 自転車を利用するには、公共交通機関が未整備・未発達なためである。国と都に働きかけ、当面はミニバスで対応する。行政担当者は、実際に歩いて道路の現状を調べ、駅前の道路不法使用を厳重に取り締まってほしい。マナー向上は自動車、自転車、歩行者の順に図る。交通事故は通行が車優先のため。
(60代 男性)
- ・ 鉄道整備に伴い駅への自転車の集中が予測されるので、高架線の下を駐輪場にし、そこへの標示・信号を設置する。事業所利用者の自転車が通行を阻害しているので、条例で事業者の自主努力を義務付ける。乗り捨て自転車は、清掃事業の粗大ごみで収集処理してもらいたい。
(60代 男性)
- ・ 自転車利用環境づくりに関連して、今後は車椅子の歩道利用もえてくるので、両方の利用を考えた対策も必要である。
(60代 男性)
- ・ 自転車利用者のモラル向上が最も大切だ。
(60代 女性)

平成12年度 第3回区政モニター調査

《自転車利用環境づくり》

氏名 _____

自転車は、安価に手軽に乗れる乗り物として、私たちの日常活動に欠かせない存在となっています。また、現在、地球温暖化防止への取り組みとして、CO₂の排出量を削減するため、その利用が見直されてきています。しかし、その反面、街なかには放置自転車があふれる状況をも生みだしています。

足立区は、鉄道等の公共交通の発達が遅れていることもあり、自転車の利用が盛んです。また、平坦な地形を活かすとともに河川や水路の良好な環境を活用するなど、自転車利用環境づくりに適していると言えます。このような状況から、平成11年度には足立区が、建設省の「自転車利用環境整備モデル都市」に選ばれました。

については、区内の自転車利用環境づくりを検討する上で、区政モニターの皆さんのご意見をお聞きし、参考にさせていただきたいと思います。よろしくご協力お願いいたします。

問1 あなたは日頃自転車を利用していますか。

- (1) いる (→問2へ)
- (2) いない (→問4へ)

問2 上記問1で「いる」を選んだ方にお聞きします。

主な利用目的は何ですか。 (1つだけ)

- (1) 通勤・通学
- (2) 仕事
- (3) 買い物
- (4) 銀行・郵便局・区役所・図書館等への私事
- (5) 知人等訪問・コミュニティ活動などの私事
- (6) サイクリング等の健康増進
- (7) その他 (具体的に)

問3 上記問1で「いる」を選んだ方にお聞きします。

あなたが自転車を利用していて、困ったことは何ですか。 (いくつでも)

- (1) 歩行者が道を譲ってくれなかつた。
- (2) 歩行者と接触したり、衝突しそうになつた。
- (3) 道路が狭くて安心して走れない。
- (4) 路上の放置自転車が多くて走りにくい。
- (5) 段差の大きい歩道で転倒しそうになつた。
- (6) 電柱や看板などが障害物となって走りづらい。
- (7) 他の自転車利用者が、信号無視や夜間の無灯火など交通ルールを守っていない。
- (8) 他の自転車利用者が、コントロールできないようなスピードで走行するため危険を感じた。
- (9) やたらとベルを鳴らし、歩行者や他の自転車をけちらす者がいる。
- (10) 駅付近の駐輪場や街なかに自転車を止める場所が少ない。
- (11) その他 (具体的に)

ここからは、全員の方にお聞きします。

問4 あなたが歩行者として、自転車について困ったことは何ですか。 (いくつでも)

- (1) 自転車が道を譲ってくれなかつた。
- (2) 自転車と接触したり、衝突しそうになつた。
- (3) 自転車の通行量が多くて歩きにくい。
- (4) 路上の放置自転車が邪魔で歩きにくい。
- (5) 道が狭いので、自転車と接触する危険がある。
- (6) 自転車利用者が、信号無視や夜間の無灯火など交通ルールを守っていない。
- (7) 自転車利用者が、コントロールできないようなスピードで走行するため危険を感じた。
- (8) やたらとベルを鳴らし、歩行者や他の自転車をけちらす者がいる。
- (9) 自転車の飛び出しにひやりとさせられた。
- (10) その他 (具体的に)

問5 自転車をとりまく問題を解決するためには、以下①～④のような対策が考えられます。これらの対策についてお聞きします。なお、歩道の段差の解消や電柱や看板などの整理については、バリアフリーの街づくりとして、区がその対策を徐々に進めております。

- ① 交通事故減少のための対策
- ② 放置自転車対策
- ③ 自転車利用者のマナー向上のための対策
- ④ 自転車の安全な走行空間を確保するための対策

問5-1 「交通事故減少」のために、区はまず何から取り組んでいくべきだとお考えになりますか。（2つまで）

（足立区は、平成7年から平成10年まで4年連続で、23区内で自転車交通事故件数第1位という不名誉な結果にあります。）

- (1) 自転車事故の多い箇所やその原因を徹底的に究明し、安全がはかれるよう改善する。
- (2) 車道を狭めても、自転車専用の通行帯を整備する。
- (3) 一方通行にしたり、進入禁止の時間帯を設ける。
- (4) 標識や一時停止の路面表示、カーブミラーを設置するなどのハード対策を充実する。
- (5) 自転車利用者への交通安全キャンペーンや交通安全教育を実施する。
- (6) バス路線網を充実させ、自転車の交通量を減らす。
- (7) 自動車利用を控えるよう、区民に協力を求める。
- (8) その他（具体的に

)

問5-2 「放置自転車」の対策を図るには、区はまず何から取り組んでいくべきだとお考えになりますか。（2つまで）

（区では、駅周辺からおおむね300mを自転車放置禁止区域に指定しています。しかし、駅周辺での放置自転車撤去台数は年間で4万台にも達しています。）

- (1) 駅周辺以外にも自転車放置禁止区域を指定する。
- (2) 自転車放置禁止区域がわかるような路面表示や標識などを設置し、規制を徹底する。
- (3) 放置自転車防止キャンペーンを実施し、利用者のモラル向上を図る。
- (4) 有料自転車置場を増設する。
- (5) 放置自転車を断固として撤去する。
- (6) 撤去費を値上げする。
- (7) 民間の自転車利用の多い施設に、十分な駐輪場を設置するよう行政指導する。
- (8) その他（具体的に

)

問5-3 「自転車利用者のマナー向上」のための対策を図るには、区はまず何から取り組んでいくべきだとお考えになりますか。（2つまで）

（自転車は、歩道通行可の標識がある場合にのみ、歩道の車道よりも走ることができますが、その際は、歩行者の安全に注意して徐行し、危険なときは一時停止しなけ

ればなりません。『道路交通法』)

- (1) 小学生への交通安全教育の一環として、自転車免許制度を導入する。
- (2) 小・中学校の授業カリキュラムに、交通安全教育を導入する。
- (3) 住区センターや生涯教育施設で、自転車利用者を対象とする交通マナー教育を導入する。
- (4) 自転車利用者へのマナー向上を促す標識や看板の設置、路面表示を行う。
- (5) 交通違反を厳しく取り締まるよう、警察にはたらきかける。
- (6) その他 (具体的に)

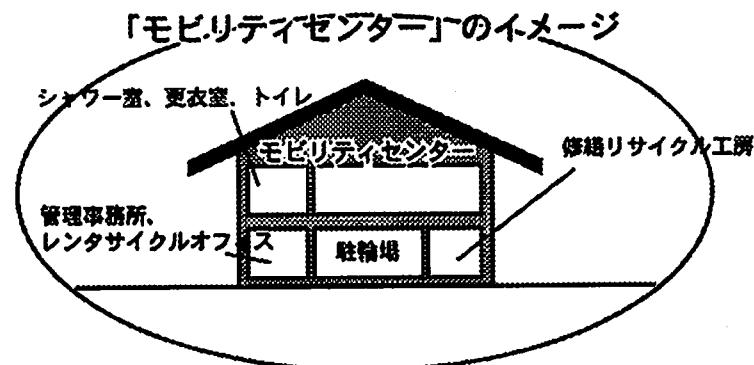
問5-4 区内の道路は一般的に道幅が狭く、歩道も狭い状況にありますが、これ以上道幅を拡げることは困難です。区では、車道を狭めたり植栽帯をなくすことで、歩道を拡げようと考えています。そこで、今ある道幅で、「自転車の走行空間」を確保するには、どのような形態がよいと思いますか。(1つだけ)

- (1) 車道部にブロック等の工作物を設置し、自転車道を整備する。【A図】
- (2) 車道部に白線やカラー舗装をし、自転車道を整備する。【B図】
- (3) 歩道部に白線やカラー舗装をし、自転車道を整備する。【C図】
- (4) その他 (具体的に)



問6 区では、自転車利用をすすめるため、「モビリティセンター（注）」の建設を検討しています。下記のサービスの中で、あなたが有料でも利用したいと思うものは何ですか。(いくつでも)

(注：駐輪場に様々なサービス機能をつけた施設。「自転車の駅」。)



- (1) シャワー・更衣室
- (2) ロッカー
- (3) 自動販売機コーナー
- (4) トイレ
- (5) レンタサイクル
- (6) メンテナンスサービス（パンクなどの修理全般や電動自転車の充電など）
- (7) リサイクルサービス（不要になった自転車の引き取りや部品交換など）
- (8) その他（具体的に)

問7 足立区の自転車利用環境づくりについて、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。（自由回答）

ありがとうございました。